

■ オンデマンド配信:下記の期間であれば、興味のある録画をいつでも、何度でもネット上ご視聴いただけます。

- 配信期間 : 2022年2月21日(月)～28日(月) 8日間
- 配信ツール : ネクプロウェビナー (アプリのダウンロードは必要ありません)
- 配信内容 : 2月18日(金)当日のプログラムの録画(アップグレードミーティングは除く)の他、以下の録画を視聴いただけます。

海外の VE 情報
<p><再生時間:約 30 分> 「各国が共同した VE のグローバル展開」(仮)</p> <p style="text-align: right;">SAVE(米国 VE 協会)国際担当副会長(VP)にインタビュー予定</p>
<p><再生時間:約 30 分> 「中国における VE の展開活動状況」(仮)</p> <p style="text-align: right;">上海 VE 普及推進委員会 副委員長 VES 何 曉磊氏にインタビュー予定</p>

VE 及び VE 関連技法事例
<p>(第 54 回 VE 全国大会発表事例) <再生時間:約 28 分> 「FAST と TRIZ を組み合わせた現場作業の組織的改善」</p> <p>少子化の背景などもあり、現場の属人的な知見を体系化して組織として資産化する力が求められています。本論文では、FAST と TRIZ を組み合わせて、現場作業の情報を形式知化して組織として改善する手法を实践事例とともに報告します。現場作業の改善をどのように進めれば良いのか、お困りの方のヒントになれば幸いです。</p> <p style="text-align: right;">三菱重工業(株)ICT ソリューション本部 パワーIT ソリューション部 高砂 IT グループ VES 吉田尚史氏</p>
<p>(第 54 回 VE 全国大会発表事例) <再生時間:約 25 分> 「LEAN Enterprise Value(LEV)技法を活用した BPR の実践事例」</p> <p>当社では、2017 年のガス小売全面自由化と、2022 年に控えるガス導管部門の法的分離等の環境変化を踏まえ、全社的に VE 活動の取組みをスタートした。その中で我々は、業務プロセス改革に対して LEV 技法と VE を組み合わせ、活動を効果的に進める手法を提案した。本論文では、その手法の概要と、実際にガス小売部門の集合住宅向け床暖房工事における業務プロセス改革へ適用した事例を紹介する。</p> <p style="text-align: right;">東京ガス(株)営業エンジニアリング事業部エンジニアリング高度化 PJG VEL 堀大樹氏 東京ガス(株)資材部調達企画グループ VES 伊藤学氏</p>
<p>(第 54 回 VE 全国大会発表事例) <再生時間:約 31 分> 「救急車用ストレッチャーの VE 適用による価値改善とリモート VE 活動」</p> <p>救急車用ストレッチャーの価値改善に向け、コロナ禍の影響により、急遽リモートで活動した VE 実践事例、およびその後の VE 活動のリモート化への取り組みについて紹介する。</p> <p style="text-align: right;">(株)松永製作所 開発部 係長 和田集太氏 (有)大西マネジメント・ソリューション 代表取締役 CVS 大西規生氏</p>
<p>(2021 年 VE 京滋セミナー発表事例) <再生時間:約 23 分> 「要素技術開発における技術コンセプト創出への VE・TRIZ の活用」</p> <p>液体クロマトグラフ質量分析計(LC-MS)の要素技術開発において、VE・TRIZ の技法を活用し、革新的レベルでの検出感度安定化を実現する新技術のコンセプト創出を行った。このプロジェクトにおける VE・TRIZ の活用方法について紹介する。</p> <p style="text-align: right;">(株)島津製作所 総合デザインセンター VEL 田中久嘉氏</p>
<p>(2021 年 VE 京滋セミナー発表事例) <再生時間:約 27 分> 「トヨタ生産システムと VE を組み合わせた LEV(Lean Enterprise Value)技法の適用事例」</p> <p>米国 VE 協会の入門書にて紹介されている LEV は、トヨタ生産システムと VE を組み合わせて、業務や加工作業などのプロセスを改善する技法である。当社では LEV 技法の具体化を進め、業務プロセスや加工作業の改善に適用してきた。今回は、LEV 技法を用いて、立命館大学と共同で進めてきた深層学習の手順(作業プロセス)を容易な手順に改善した事例を紹介する。</p> <p style="text-align: right;">三菱重工業(株)エナジードメイン 高砂タービン製造部 首席技師 VEL 森下武氏</p>
<p>(第 64 回 VE 西日本大会発表事例) <再生時間:約 28 分> 「マツダのテアダウンプロセス」</p> <p>マツダのテアダウンプロセスについて、これまで蓄積したノウハウをもとに歴史を振り返りながら体制と進め方を紹介する。また、今回実際に自動車を分解している一連の動画も準備したので、テアダウンプロセスの理解を深める機会としていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">マツダ(株)コモディティ企画推進部 VE センター アシスタントマネージャー 白井和彦氏</p>